

**第 26 回（平成 22 年度）  
（財）村田学術振興財団  
研究助成等募集要項**

平成 22 年 3 月

（助成の趣旨）

自然科学（特にエレクトロニクスを中心とするもの）及び人文・社会科学（特に国際化にともなう法律、経済、社会、文化等に係る諸問題に関するもの）の研究に対する助成等を通じて、わが国の学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。（寄付行為第 3 条）

**1. 研究助成**

助成対象	自然科学	エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究。
	人文・社会科学	国際化にともなう法律、経済、社会、文化等の諸問題に関する研究。
助成対象者	<p>有意義な研究、特に若手研究者で萌芽的な段階にある先駆的・独創的研究に関する研究者、又は研究グループ。 （日本国内に在住する外国人も応募可能です。） （海外派遣援助プログラムとの重複応募はご遠慮下さい。重複応募が判明した段階で不採択とします。）</p>	
過年度採択者	<p>3 年以内に当財団の研究助成を受けられた方の応募申請はご遠慮下さい。（平成 19 年度以降の採択者） 4 年以前に当財団の研究助成を受けられた方で、新規テーマであれば応募可能です。</p>	
助成金額及び件数	自然科学	総額 95,000 千円とし、74 件程度とし、1 件あたり 1,000 千円から 3,000 千円程度を予定しています。
	人文・社会科学	総額 15,000 千円とし、16 件程度とし、1 件あたり 500 千円から 2,000 千円程度を予定しています。
助成金等の用途	申請書記載の用途に基づいて使っていただきますが、研究目的達成の為にあれば変更しても差し支えありません。	
助成期間	助成期間は原則 1 年ですが、研究内容によっては次年度以降継続を認めることがあります。	
助成金受領者の報告義務	研究終了後 3 ヶ月以内に、研究成果報告及び会計報告を別途定める様式によって報告していただきます。	
提出部数	<b>2 部。（A4 片面モノクロ印刷、カラー印刷は不可）</b>	
依頼事項	成果を刊行する場合は、本財団の助成による旨を書き添えください。	

## 2. 研究会（学会を含む）助成

助成対象	自然科学	エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究会・学会。
	人文・社会科学	国際化にともなう法律、経済、社会、文化等の諸問題に関する研究会・学会。
開催期間		原則として平成 22 年 6 月から平成 23 年 6 月の間に開催される研究会・学会。
助成金額及び件数	自然科学	総額 9,500 千円とし、22 件程度とし、1 件あたり 300 千円から 1,000 千円程度を予定しています。
	人文・社会科学	総額 500 千円とし、2 件程度とし、1 件あたり 200 千円から 300 千円程度を予定しています。
助成金等の使途		申請書記載の使途に基づいて使っていただきますが、研究目的達成の為であれば変更しても差し支えありません。
助成金受領者の報告義務		研究会・学会終了後 3 ヶ月以内に、研究会実施報告書及び収支決算書を別途定める様式によって報告していただきます。
提出部数		2 部。（A4 片面モノクロ印刷、カラー印刷は不可）
依頼事項		成果を刊行する場合は、本財団の助成による旨を書き添えください。

### 3. 研究者の海外派遣援助

助成対象	自然科学	エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する海外での研究活動、あるいは海外で開催される国際会議、シンポジウム等で研究発表する場合の海外派遣。
	人文・社会科学	国際化にともなう法律、経済、社会、文化等の諸問題に関する研究分野に関する海外での研究活動、あるいは海外で開催される国際会議・シンポジウム等で研究発表する場合の海外派遣。
出発期間		平成 22 年 6 月～平成 23 年 6 月の間に出発予定の方。
応募条件	海外での研究活動	受入機関の承諾を得ている者、又は申請中であるが受入承諾が得られる見込のある者。 (日本国内に在住する外国人も応募可能です。) (研究助成プログラムとの重複応募はご遠慮下さい。重複応募が判明した段階で不採択とします。)
	海外で開催される国際会議・シンポジウム	招待発表、口頭発表、ポスター発表などの研究発表の承諾を得ている者、又は申請中であるが受入承諾が得られる見込のある者。
過年度採択者		3 年以内に当財団の研究助成を受けられた方の応募申請はご遠慮下さい。(平成 19 年度以降の採択者) 4 年以前に当財団の研究助成を受けられた方で、新規テーマであれば応募可能です。
派遣期間		通例 3 ヶ月以内とします。
助成金額及び件数	自然科学	総額 8,000 千円とし、39 件程度とし、1 件あたり約 250 千円から 500 千円程度を予定しています。渡航費(往復)及び滞在費の一部の援助を行います。
	人文・社会科学	総額 2,000 千円とし、7 件程度とし、1 件あたり約 250 千円から 500 千円程度を予定しています。渡航費(往復)及び滞在費の一部の援助を行います。
助成金受領者の報告義務		帰国後 3 ヶ月以内に、活動の経過、結果及び会計について当財団へ別途定める様式によって報告していただきます。
その他添付を必要とする書類	海外での研究活動	相手側からの招聘状・受け入れ承諾書のいずれか、あるいは派遣先と交わした申請書又はこれに代わる人からの往信及び返信等連絡文書(いずれも写)。
		相手国における研究計画については、申請書所定欄に記載したものを本人が英、独あるいは仏訳した文書。
	海外で開催される国際会議・シンポジウム	発表申請中の場合はその申請書の写し、発表が確定している場合はその許諾書の写し、招待講演の場合はその招待状の写し。
提出部数		2 部。(A4 片面モノクロ印刷、カラー印刷は不可)
依頼事項		成果を刊行する場合は、本財団の助成による旨を書き添えください。

#### 4 . 応募手続き

推薦者は 学協会の代表者・学部長・科長・研究所長・教授、又は直属の上司とします。所定の申請書に必要事項を記載の上、**2部提出**して下さい。(A4 片面印刷でカラー印刷は不可とします。)

提出書類	研究助成候補者推薦書・研究助成申請書
	学術研究会(学会)助成推薦書・学術研究会(学会)助成申請書
	研究者海外派遣援助推薦書・研究者海外派遣援助申請書

推薦書・申請書用紙等が不足する場合はコピーして使用下さい。

URL : <http://www.murata.co.jp/zaidan/index.html>

採択結果は推薦者宛に文書にて連絡いたします。また速報は上記ホームページに掲載いたしますのでご利用ください。

#### 5 . 募集締切日

**平成 22 年 4 月 20 日 (火) 必着**

#### 6 . 選考方法

選考委員会で選考し、評議員会で承認後、理事会で決定します。

(五十音順・敬称略)平成 22 年 2 月末日 現在

選考委員	荒川 泰彦	東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 機構長
	磯村 保	神戸大学大学院法学研究科教授
	奥山 雅則	大阪大学名誉教授 ナノサイエンスデザイン教育研究センター特任教授
	河本 邦仁	名古屋大学大学院工学研究科教授
	澤谷 邦男	東北大学大学院工学研究科教授
	柴田 章久	京都大学経済研究所教授
	鶴見 敬章	東京工業大学大学院理工学研究科教授
	平尾 一之	京都大学大学院工学研究科教授
	渡辺 好章	同志社大学生命医科学部 学部長、医情報学科 教授
	門田 道雄	㈱村田製作所 技術・事業開発本部 門田研究室 室長
	鷹木 洋	㈱村田製作所 執行役員、技術・事業開発本部 材料開発統括部 統括部長、材料事業統括部 統括部長
	福田 進	㈱村田製作所 横浜事業所 事業所長
	牧野 孝次	㈱村田製作所 取締役 常務執行役員、生産本部 本部長

## 7. 助成等の決定及び贈呈

助成等の決定は、平成 22 年 6 月初旬を予定しています。推薦者及び申請者に対し、文書により結果をお知らせします。

なお 研究助成金は平成 22 年 7 月の贈呈式の後、所定の手続き後にご指定の機関にて振込みます。研究会助成金、海外派遣援助金については、適時お送りいたします。(銀行振込)

## 8. 参考 助成金額及び件数

研究助成分野別助成金額と件数は下記のとおりとしますが、選考結果により若干変更する場合があります。

単位(千円、件)

項目	合計		自然科学系		人文・社会科学系	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1. 研究助成	90 件程度	110,000	74	95,000	16	15,000
2. 研究会(学会)助成	24 件程度	10,000	22	9,500	2	500
3. 研究者海外派遣援助	46 件程度	10,000	39	8,000	7	2,000
合計	160 件程度	130,000	135	112,500	25	17,500

( 推薦書 / 申請書の提出先及び連絡先 )

財団法人 村田学術振興財団

〒617-8555 京都府長岡京市東神足一丁目 10 番 1 号

TEL075-953-2580

FAX075-955-6526

E-mail : [zaidan@murata.co.jp](mailto:zaidan@murata.co.jp)

[msf@murata.co.jp](mailto:msf@murata.co.jp)